

第一分科会

「遊ぶ・これからのツーリズム～グリーンツーリズムーその実践成果の継承と発展～」

一般社団法人 隠れ里ひとくまツーリズムの
持続可能な法人運営を目指して

報告者

一般社団法人 隠れ里ひとくまツーリズム

代表理事 樫木 徹郎

熊本県 人吉球磨地域



構成自治体10市町村

これまでのグリーンツーリズムの取り組み



全10市町村にグリーンツーリズム研究会が存在
事務局は各市町村役場に設置
各地域の特徴を活かした独自事業を実施

人吉球磨地域のグリーンツーリズムを
広域的な取組みにするため、
10市町村のグリーンツーリズム研究会を
中心として構成した、
「人吉球磨グリーンツーリズム推進協議会」を設立

これまでのグリーンツーリズムの取り組み



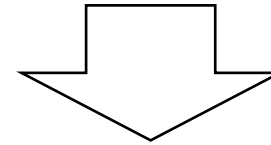
「人吉球磨グリーンツーリズム推進協議会」

事務局を熊本県（球磨地域振興局）に設置
10市町村の広域的なネットワークが強み
広域連携を活かしグリーンツーリズムの推進や
様々な団体の受入や食事提供等を実施
全国グリーンツーリズムネットワーク大会にも
団体で毎年参加研鑽と全国の実践者との知識を深める

「人吉球磨グリーンツーリズム推進協議会」の発展的解散



- ・ 行政だけに頼らない自立した団体にする
- ・ 人との交流を大切に「“金儲け”より”人儲け”」という理念を大切にしながらも収益化を図る
- ・ 団体を法人化することにより持続可能な農山漁村の活性化を図る



「人吉球磨グリーンツーリズム推進協議会」を発展的解散

農林水産省「農泊推進交付金」を活用
平成31年に、

「一般社団法人隠れ里ひとくまツーリズム」を設立

「一般社団法人隠れ里ひとくまツーリズム」

農泊13軒、ホテル・旅館 2 軒、交流館 3 軒、企業 5 軒
熊本県はオブザーバーとして助言



多様な構成メンバー

<https://youtu.be/dodTVaqSTj0>

「一般社団法人隠れ里ひとくまツアーリズム」

活動内容

- ・パブ（居酒屋）の開催
- ・PR動画作成
- ・各種研修やツアーの受け入れ



令和2年7月豪雨災害による 被災した会員の施設



郷土の家庭料理ひまわり亭



ホテルサン人吉



人吉旅館

令和2年7月豪雨災害における会員の復興支援活動

当法人の会員も大きな被害を受け、
避難所生活や施設が使用できなくなった会員も。

◎当法人の強みでもある広域連携のネットワークを活かし、
土砂の撤去や被災者への炊き出し

◎全国の実践者から様々な物資やご協力も得ながら、
復興に向け取り組んでいます。

日頃の実践者との交流が
“いざ”というとき大きな力となった

キッチンカーによる被災者への
15,000食の炊き出し



課題と今後の取り組み

課題① 事務局運営を会員が本業の傍ら行っている

今後の取り組み

- ・ 農家民宿における宿泊客の受入増加を目指し
OTSを活用し宿泊手数料を協議会へ入金
- ・ 定期的なパブ（居酒屋）の開催
- ・ 農産加工施設（町所有）を活用し、6次産業化した収益増
→事業の収益化を行い、
専任の事務局職員の雇用と体制整備を実施
→with・アフターコロナ禍においての“農泊”の
メリットを発信する

課題と今後の取り組み

課題② 会員の高齢化

取り組み

- ・ 今後の法人運営には、
農泊受入ができる若い世代の新規会員の加入が必須
魅力ある“農泊”事業の価値をアピールし、多様な人材を
発掘し育成していく

→ 当法人の取り組みを周知

旅館業法または住宅宿泊事業法の
許可取得に向けた支援体制整備

観光と農をコラボした新しい時代の観光地域づくりの連携体制

持続可能な農山漁村の活性化を目指した 法人運営を目指して

当法人の強みである広域連携を活かしながら

- ◎収益化事業（多様な“食”資源を活かした“農泊”事業の実施）
- ◎専任の事務局職員の雇用
- ◎農泊受入ができる若い世代の新規会員の増加
- ◎令和２年７月豪雨災害からの復興ツーリズムの受け入れ

以上を実施します。

これからSDGsの実現に向けて
新しい「農泊」による農山漁村の活性化を目指します



ご清聴ありがとうございました！